

「新たな文化プログラム（仮称）企画制作・会場設営・運営業務委託」 受託候補者特定に係る実施要領

（趣旨）

第1条 横浜トリエンナーレ組織委員会契約業者選定委員会要綱（以下「要綱」という。）の規定に基づき、「新たな文化プログラム（仮称）企画制作・会場設営・運営業務委託」の受託候補者をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、横浜市委託に関するプロポーザル方式実施取扱要綱（以下「実施要綱」という。）に準じるほか、この実施要領に定めるものとする。

（実施の公表）

第2条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成書式及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

（提案書の内容）

第3条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは、別に定める。

- (1) 業務実績
- (2) 当該業務の実施方針
- (3) 当該業務に関する具体的な提案
- (4) その他当該業務に必要な事項

（評価）

第4条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 提案業者の業務実績等
 - (2) 事業の理解度
 - (3) 提案内容
 - (4) 事業の実現性
 - (5) 環境に配慮した取組
- 2 プロポーザルの評価にあたって、提案者にヒアリングを行うものとする。
- 3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、当該業務に最も適した者を特定する。
- 4 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

（プロポーザル評価委員会）

第5条 評価委員会は、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
- (2) 評価の着眼点、評価項目及びそのウエイト並びに評価基準の確認
- (3) 評価の集計及び報告

(4) ヒアリング

2 委員会に委員長及び副委員長を置き、次のとおりとする。

委員長	横浜市にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課長
副委員長	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団横浜美術館経営管理グループ長
委員	横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局GREEN×EXPO推進課 担当課長
委員	横浜市にぎわいスポーツ文化局総務課企画調整担当課長
委員	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団横浜美術館主席学芸員

3 委員長に事故等があり、欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。

4 評価委員会は、委員の5分の4以上の出席がなければ開くことができない。

5 委員長は、評価結果を横浜トリエンナーレ組織委員会契約業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）に報告するものとする。

(評価結果の審査)

第6条 選定委員会は、評価委員会から評価結果の報告があったときは、選定委員会において、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと。
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと。
- (3) 評価結果に関し、必須事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附 則

この要領は、令和8年4月30日から施行する。